



ひろしま自動車産学官 連携推進会議



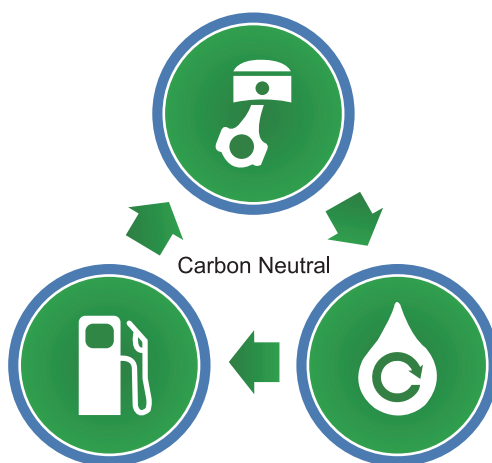
自動車用次世代液体燃料シンポジウム 2017

～カーボンニュートラルな液体燃料の持つ可能性とその実用化に向けた課題～

開催日時 2017 年 6 月 14 日 (水) 12:30 ～ 16:05 (11:30 受付開始)

開催場所 広島大学東千田未来創生センター 定員 200 名 - 参加無料 -

主 催 ひろしま自動車産学官連携推進会議



【ごあいさつ】

2016 年 11 月、COP21 で合意されたパリ協定が発効しました。地球温暖化の緩和に向け、長期的な視点で、効率よく、自動車利用に関わる CO2 排出量の削減を実現するためには、EV、PHEV、FCV に加えて、引き続き世界の自動車需要の太宗を占める内燃機関自動車を含めた、それぞれのパワーソースが再生可能エネルギーの導入を進め、Well-to-Wheel でのゼロ CO2 をめざす必要があります。

また、自動車利用における再生可能エネルギーの導入拡大は、温暖化緩和のみならず、エネルギー源の多様化によるエネルギー安全保障にも資する、有効な手段の一つであると考えられます。

再生可能エネルギー由来の電力、水素、液体燃料の普及など、本質的な温暖化対策への具体的な課題が顕在化する昨今の状況において、将来の自動車用エネルギーについて考えていただける機会にしたいと思いますので、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 エネルギー専門部会長 工藤秀俊 -

タイムスケジュール

11:30 ～ 受付開始

12:30 ～ 12:40 開会挨拶

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 金井誠太 顧問（マツダ株式会社 代表取締役会長）

12:40 ～ 14:00 自動車用エネルギーの将来動向（各 40 分）

- 日本の長期エネルギー需給見通しと運輸部門における燃料多様化について

- 資源エネルギー庁 資源・燃料部政策課 安原清英 課長補佐 -

- 将来の社会情勢を見据えた自動車動力システムに関する展望

- 早稲田大学 研究院 次世代自動車研究機構 大聖泰弘 特任研究教授 -

14:15 ～ 14:30 ひろしま自動車産学官連携推進会議 活動報告（15 分）

- Well-to-Wheel での CO2 削減に向けた取組みと自動車用液体燃料の将来像

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 工藤秀俊 エネルギー専門部会長（マツダ株式会社 執行役員） -

14:30 ～ 15:50 微細藻類バイオマス燃料の実用化に向けた取組み（各 40 分）

- 微細藻類バイオマス燃料の実用化・事業化に向けた取組み

- 株式会社ユーグレナ 出雲充 代表取締役社長 -

- 次世代バイオ燃料の国内外の動向と今後の展開～第三世代バイオ燃料（藻類由来）を中心に～

- 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 坂西欣也 所長代理 -

16:00 ～ 16:05 閉会挨拶

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 寄谷純治 議長（ひろしま産業振興機構 副理事長）

【参加のご案内】

参加をご希望の方は、6月9日（金）17時までに、以下の参加申込書に必要事項をご記入の上、EmailもしくはFAXにてお申込みください。参加は無料です。

<http://www.chugoku.meti.go.jp/event/sangakukan/word/170512.docx>

※期日に関わらず、申込みが定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

会場のご案内

広島大学東千田未来創生センター

〒730-0053 広島市中区東千田町 1 丁目 1 番 89 号

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>



東千田キャンパス配置図

【交通アクセス】

●バスをご利用の方

JR 広島駅 (広島市) からアルパーク方面行き

広島バス (50 号線)

↓約 12 分、220 円

日赤前下車 徒歩約 2 分

●市内路面電車をご利用の方

JR 広島駅 (広島市) から紙屋町経由広島港行き

広電 (1 号線)

↓約 30 分、160 円

日赤病院前下車 徒歩約 3 分

【お問い合わせ】

中国経済産業局内 ひろしま自動車産学官連携推進会議 シンポジウム問い合わせ窓口
(地域経済部 自動車・航空機・産業機械担当)

電 話 : 082-224-5760 FAX : 082-224-5645

e-mail : jisedai-sympo2017@meti.go.jp